

令和6年度12月教育委員会 会議録

開催日時		令和6年12月20日（金） 15:00 ～ 17:00
開催場所		早島町町民総合会館 2階 集会室
出席者	委員	白神敬祐教育長、市橋晃委員、岡本善弘委員、加藤和子委員
	事務局	吉見一成学校教育課長、芝原孝典生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐、藤井夏樹主任
会議次第		1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 （1）早島町立学校児童生徒の区域外就学に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について （2）12月議会報告について （3）令和6年度市町村教育委員会研究協議会について （4）その他 3 連絡 4 閉会
会議資料		
傍聴者		なし
会議録作成者		貝原丈雄

会議内容

1 開会 教育長あいさつ 白神教育長：新型コロナウイルスは感染者が増加傾向ということですし、インフルエンザも流行傾向ということで、小学校で学級閉鎖も出ましたが、もう良くなって来ているようです。まだ感染症対策も学校園でしっかりやってもらっています。 本日も、色々な協議や連絡事項等ございますので、どうぞよろしくお願い致します。 2 議事・報告案件 （1）早島町立学校児童生徒の区域外就学に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について 【資料説明】
--

白神教育長：ご意見、ご質問などございませんか。

加藤委員：幼稚園にいた時、お母さんが仕事の都合で学区外から連れて来ていました。そのころは、小学校にあがる時は学区に戻るという条件でした。元の学区で小学校に通いだしたら誰も友達がなくて、慣れるまでに何ヶ月もかかった。子供がかわいそうだから通った幼稚園の所に引っ越してきたご家庭もありました。小さいお子さんは、友達がいることがものすごく大切なことで、学校生活の中で、心の安定をはかるのは友達関係が一番だと思います。

岡本委員：該当する児童生徒はどれくらいいるのでしょうか。

藤井主任：区域外就学をされているお子さんの数を言いますと、例えば、学年の途中で転居する方は、例年4～5人いらっしゃるって、そういう方にも区域外就学は許可していますし、今回の改正の地理的事情、家庭的事情の方も、それぞれ小学校に各1、2名おられます。

市橋委員：今回、中学生でこれをするようになったのは、中学校でもそういう要望があったからですか。

藤井主任：そういうお声は頂きましたし、過去にもありました。その中で近隣市町村の状況等も確認して決めさせていただきました。

白神教育長：この要綱改正についてはご賛同頂いたということで、ありがとうございます。

（２） １２月議会報告について

【資料の説明】

白神教育長：全協と補正予算について、何かご意見やご質問ございませんか。

岡本委員：中央公民館は建ってからどのくらいの年数が経っていますか。

芝原課長：中央公民館自体は、1970年に建っています。1998年の秋頃～1999年の7月末まで大規模改修を行っていて、2013年に耐震工事を行っています。

岡本委員：今後も心配な部分ってあるんですか。

芝原課長：大規模改修を行ってから25年。中も老朽化しているし、一応昇降機は付いていますがエレベーターもない。色々と不具合は出てきています。鉄筋コンクリート造なので、一般的には60年と言われていますが、長寿命化で80年を目指す目標は定めてあるようです。実際に80年もたせるかは別問題で数値の上での目標です。

白神教育長：お金が掛かることなので、優先順位とかで考えていかないといけない。

市橋委員：小学校って耐震工事しませんでしたか。

吉見課長：耐震工事は行っています。

市橋委員：それも60年を80年とかになるんですか。

吉見課長：いろいろな考え方があります。今は約50年が経過しています。80年を目指すということも選択肢の1つとしてあります。長寿命化に本気で取り組んでいる自

治体もあるし、この先の少子化に合わせた施設の統合、スリム化の為の建て替えをしている自治体もあって、早島町はどうしましょうかという検討を、これから始めるという理解です。

市橋委員：日本全体は、人口減少フェーズになるけど、早島町になるかどうかはわからないのではないかな。

吉見課長：岡山県で1番小さい町で、開発できる土地がそろそろ頭打ちのように見えます。近い将来のどこかで天井を打って、そこからはなだらかに減少していくと考えられます。

市橋委員：なだらかなじゃないですか。気にしているのは、少なくなる前提で、どこにどれくらいの子どもの数がどうなるかある程度見えないと、予測の下に作っていくんですよね。100年後に日本の人口が3分の1くらいになりますが、それは高齢者が亡くなるから減っていくわけで、子どもの数はそんなに減らないのではと思っています。

吉見課長：色々な比較検討すべき項目を洗い出して、財政とか人口とか少子化とか高齢化とか、早島町で何がベストかなと結論を出す時に、今の場所で今のものを出来るだけ長く使うけど、いずれ建て替えの時期は来るかもしれないとは思いますが。結論ありきで動いてはいけないとは思っています。

白神教育長：今の場所がいいかどうか、将来が見えないので想像するしかないですが、何が良いか可能なかを考えていく、第一步を踏み出そうとしている感じになっています。

吉見課長：朝の小1の壁について、早島町としましては、シルバー人材センターの人をお願いをして、子どもを決まった部屋に受け入れて、先生が出勤するまでの見守りを行ってもらえないかなと、予算化を視野に検討しています。仮に、来年度予算が通って実施されれば、もしかしたら、岡山県では初めての取り組みになるかもしれないです。放課後は今でもありますけど、朝の学童保育という感じですかね。

加藤委員：幼稚園は、朝早目に行っても預かりをしているけど、小学1年生になったらほっとかれる。朝の30分だけでも受け入れてもらえるといいなと思います。

市橋委員：今はなぜ開けていないんですか。

吉見課長：教員の目が届かない時に、子どもだけで教室に入れてはいけないそうです。何かあったときに対応ができないため。

白神教育長：7時50分には、先生方が教室を開けて回る。7時40分位までに100名位来ているらしいので、早く来た子が、シルバーの方にでも見て頂ける部屋を1つ開けれるようにお願いできたらなと思っています。

(3) 令和6年度市町村教育委員会研究協議会について

【資料説明】

(4) その他

岡本委員：先月の終わりに、国道2号線の高架工事の2回目の説明会に参加しました。今回は、無津交差点の工事の説明が中心で、我々近隣住民が危惧したのは、無津交差点の歩道橋を子ども達が沢山渡って通学しています。駅に行く学生もいるし、仕事に行く方も渡って行く。前回、今後どうなるのか質問していましたが、今回青写真があり、無津交差点の東側から、渡って交差点の南に、通行人の為のトンネルを掘る図面が上がってきていました。多分それが一番良い解決方法になるようだし、歩道橋は老朽化もしているので撤去という説明もありましたので、まだまだ先のことになると思いますが、お伝えしておきます。

加藤委員：人権擁護委員の関係で、中学生の人権の作文が毎年あって冊子も出ますが、倉敷人権擁護委員は、倉敷と総社と早島があって、中学校は40校以上あるんですが、今年も早島からは1枚も作文が出ませんでした。中学生沢山いるのに出ないのは寂しいなと思います。

岡本委員：観光ボランティアの立場から、不老の道の看板は大丈夫のようですが、観光に関する遺跡に関する説明文や内容について、見直しするなり新たに設置するなり、おいおい考えていただきたいとお伝えしておきます。

3 連絡

【レジュメに記載】

吉見課長：次回の教育委員会は、1月31日（金）15：00～ ゆるびの舎2階の集会室で開催予定です。よろしくお願い致します。

4 閉会